

2026年「耳鼻咽喉科月間」実施報告書

2026年3月1日～31日

一日耳鼻都道府県地方部会からー

都道府県	無料相談の実施状況 実施：34地方部会	講演会・映画会などの実施状況 実施：41地方部会	報道機関の協力状況・ほか 実施：47地方部会
北海道	耳の日記念「耳の無料相談会」を道内4会場で行った。 相談会の内容： 1. 耳と聞こえについての医療相談 2. 聴力測定 3. 耳と聞こえについての福祉相談 4. 耳と聞こえについての補聴器相談 会場： 釧路 2月15日（日） 来場者数 19名 旭川 2月20日（木） 来場者数 40名 函館 2月22日（日） 来場者数 28名 札幌 3月3日（金） 来場者数 55名	◇かちまい・札幌大医療セミナー 日時：2025年11月20日 会場：帯広市民文化ホール（帯広市） 内容：「その『いびき』命を縮めるサインかも！？一睡眠時無呼吸と健康リスク」高野賢一（札幌医科大学） ◇耳の無料相談会の一環としての市民公開講座 日時：2月20日（木） 会場：旭川北洋ビル8階（旭川市） 内容：旭川会場「難聴と認知症：予防と早期対応のポイント」大湊久貴（旭川医科大学） ◇耳鼻咽喉科月間オンライン市民公開講座 日時：3月31日（火）まで 会場：オンライン 内容：「きこえをあきらめないで豊かな人生を～補聴器から人工内耳まで～」SNS等を通じて周知し、YouTube限定配信による無料公開。高野賢一（札幌医科大学） ◇道内の補聴器販売店対象の耳鼻咽喉科月間特別企画 日時：3月18日（水）19：00～20：00 会場：オンラインセミナー（札幌市） 内容：「北海道におけるシームレスなきこえの取り組みについて」高野賢一（札幌医科大学） ◇旭川市議会議員向け勉強会 日時：4月28日 会場：道議会4階 中会議室 内容：「地域社会における難聴の疾病負荷と次代に向けた政策提言」高野賢一（札幌医科大学）	・ポスターの配布を行った。 ・かちまい・札幌大医療セミナーとして、十勝毎日新聞社の社告掲載及び開催後の記事掲載あった。 ・「耳の無料相談会」については北海道新聞社の社告掲載及び開催後の記事掲載があった。
青森県	実施してない。	・講演会 2026年3月5日（木） 13：30～15：00 令和7年度 市民健康づくり講座 八戸市総合保健センター 1階 大ホール （八戸市田向三丁目6番1号） 「アレルギー性鼻炎と睡眠のお話」 北村剛一（北村耳鼻咽喉科医院） 参加者：121名	ポスターの配布を行った。

岩手県	耳の日特別企画「聞こえを大切にする日」 日時：令和8年3月1日（日）11：00～ 会場：盛岡市大通会館「リリオ」 耳に関する無料個別相談会を講演会終了後希望者に対して行った。会場での当日受付（予約なし）。 相談担当者：県内の耳鼻咽喉科専門医8名（全員補聴器相談医・持ち回りで県内耳鼻科医師が全員参加） 相談者：33名。 盛岡市内の方が多かったが、県南からもいらした。 難聴・耳鳴・補聴器相談・認知との関係について等相談内容は多岐にわたり、医師にもより広い知識が求められるようになってきている。 出口調査では皆満足していらしたようで、明日からの耳鼻科受診につながるような内容だった。	耳の日特別企画「聞こえを大切にする日」 日時：令和8年3月1日（日）10：00～11：00 会場：盛岡市大通会館「リリオ」 耳の講演会：「難聴が日常生活に与える影響～耳鼻咽喉科学会が推進する『聞こえ8030運動』の紹介」 中西 啓（岩手医科大学） 後援：岩手県・県医師会・盛岡市・市医師会・岩手医科大学・大学医師会 入場無料・予約不要 要約筆記あり（岩手県視聴覚障がい者情報センターから4名） 当日は天候にも恵まれ会場はほぼ満席だった。中西教授のお話は難聴と認知症の関係など具体的な内容で非常に好評だった。 その他： 講演会終了後、メインスクリーンと、展示会場のスクリーンに日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会公式YouTubeから、耳鼻咽喉科領域に関する内容を流してもらい、自由に閲覧できるようにした。非常に好評だった。 会場の誘導や受付等スタッフはすべて耳鼻咽喉科頭頸部外科の医師が受け持ち、岩手医大から10名・県地方部会員今年担当15名計25名が協力し、オール岩手で臨んだ。	・ポスターの配布を行った。 ・岩手県地方部会独自にもポスターを作成『「耳の日特別企画 聞こえを大切にする日」～私の声、あなたに届いてますか？自分の悩みはみんなの悩み、耳鼻科医、補聴器相談医がお力になります』 講演会と無料相談会の告知を行い、各関連病院、地方部会員、認定補聴器店等150部配布した。 その他情宣： ・盛岡市のHPにお知らせを掲載して頂いた。 ・岩手県医師会報に耳の日企画の告知 ・岩手日報（新聞）「お元気ですか」（岩手県医師会からのお知らせコーナー）に、耳鼻咽喉科月間の説明と企画の告知 ・盛岡市・近隣市町村の広報に告知 ・悠遊（盛岡市タウン誌）にて告知 展示協力： 講演会会場の1階ギャラリーにて、耳に関する啓蒙のポスター、パネル、補聴器、人工内耳に関する展示、関連団体のパンフレット等を展示し、自由に見てもらえるようにした。 協力団体： 県内認定補聴器店全店：岩手リオン補聴器センター（宮古・大船渡・花巻・北上・水沢・一関店含む）・ブルーム盛岡店・補聴器一番館・マエカフ補聴器店・メガネの水晶堂 人工内耳コクレア社 岩手県視聴覚障がい者情報センター 岩手県中途失聴・難聴者の会 盛岡气象台（災害時の対応について） 県立視聴覚支援学校（難聴児・ことばの教室支援事業パンフレット）
宮城県	市民公開講座終了後に対面での無料相談を実施した。 相談コーナー11：15～11：45 相談コーナー（専門医6名）：0名	講演会 日時：令和8年3月1日（日）10：00～11：00 場所：仙台市医師会館2階ホール 司会：宮崎 浩（長町南めまい耳鼻咽喉科クリニック） 1. 「子どもの「きこえ」とコミュニケーションを育むために―難聴の早期発見と支援―」 高橋ひより（仙台赤十字病院） 2. 「見過ごされがちな睡眠時無呼吸症候群―いびきと日中の眠気の裏に潜む病気―」 橋本 光（東北大学病院） 質疑応答：11：00～11：15 参加者：14名	・ポスターの配布を行った。（東北大学病院各所、県内関連病院・開業医、補聴器販売店、名義後援各社、公共機関他） ・チラシ・ポスターを仙台市営地下鉄南北線の各駅（34箇所）に掲示した ・リビング仙台広告紙面・Web情報コーナーに掲載した
秋田県	市民公開講座終了後、同会場で無料相談を行った。 約30名の市民の方が参加された。	1. 市民公開講座 日時：令和8年3月7日13：00～16：00 会場：秋田県能代市の能代厚生医療センター 後援：「秋田県」「能代市」自治体、秋田県難聴者・中途失聴者協会、日本言語聴覚士会秋田県地方部会、JA秋田厚生連 内容： 「補聴器の使用について 知れば安心補聴器を使うということ」 佐藤暢子（秋田大学） 「聞こえと物忘れ 安心して暮らすために」 加谷悠（秋田大学） 会場には同時手話通訳者、同時要約筆記スクリーンを配置した。 ヒアリンググループ6席を用意した。 公開講座は、定員80名に対し、111名の参加で前年比の約2倍の参加者だった。 後援終了後、希望者に後援内容の書き起こし原稿、スライドの印刷物を送付した 2. 病院内移動図書館「耳」の日特集 日時：令和8年3月2日（月）～31日（火） 大曲厚生医療センター移動図書館（患者サービス向上委員会主催、大仙市教育委員会協力）において、図書全てを耳関連図書の選択として院内に告知し、移動図書館内の飾り付け、「耳」の日の紹介と告知を行った。	・ポスターの配布を行った。 ・地方自治体枠、秋田県広報枠での秋田県内への新聞告知、能代市報での告知を行った。 ・JA秋田の提供テレビ番組、NHKラジオでの告知を行った。 ・開催した能代市の地域紙「北羽新報」で詳細な予告記事と後追い記事が掲載された。 ・秋田全県「秋田魁新報」「朝日新聞」「読売新聞」での告知の掲載 ・公共施設、コンビニ、スーパーマーケットへのポスター掲示（約50枚）

山形県	実施していない。	市民公開講座「お顔とお鼻のトラブル早期発見！生活を守る耳鼻科の最新知識」 日時：2026年3月22日（日） 会場：山形大学医学部 50周年記念講堂 共催：山形大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座/日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会山形県地方部会 後援：山形市 演題Ⅰ：「気づいたら早めの受診を！笑顔を守る顔面神経麻痺のお話」後藤崇成（山形大学） 講演Ⅱ：「鼻づまりの真犯人？！最近増えている新しい副鼻腔炎」渡邊千尋（山形大学） 参加者は39名。質問も多数あり、顔面神経麻痺の受診方法や副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎に関する質問など高い関心がうかがわれた。	・市民公開講座のポスターの配布を行った。 ・各医療機関に市民公開講座ポスターの掲示を依頼した。 ・山形市健康ポイント事業SUKSKと連携し、市民公開講座に参加した方へ健康ポイントが加算された。 ・山形市報に市民公開講座の開催案内を掲載した。 ・難聴対策の啓発活動として「難聴の方との話し方のコツ」をまとめたチンを作成した。 ・フジテレビ系列およびNHK系列のテレビ局2局にて山形県における花粉飛散予測、初期療法による症状抑制、治療選択、セルフケアについて解説した。
福島県	市民公開講座第1部終了後に耳鼻咽喉科専門医3名による無料相談会を実施した。相談者は6名であった。	・市民公開講座を実施した。 実施日：2026年3月1日（日） 会場：コラッセふくしま（福島県福島市） （1）特別企画 「自分の聞こえを調べよう！」 開催時間：10時～12時 内容：福島県の後援を得て巡回診療の一環として実施した。事前予約の6名に対して耳鼻咽喉科専門医が耳の診察をした後に、県備品の純音聴力検査装置を用いて標準純音聴力検査を実施した。 （2）第1部 耳鼻咽喉科の三「知ろう！」 開催時間：10時～11時 内容：新進若手耳鼻咽喉科医師による講演と質疑・応答 <u>講演1</u>「聞こえのしくみと補聴器を知ろう！」 鈴木聡崇（福島県立医科大学 病院助手） <u>講演2</u>「聞こえをよくする手術を知ろう！」 尾股千里（福島県立医科大学 助手） <u>講演3</u>「花粉症について知ろう！」 橋本千織（福島県立医科大学 助手） 参加者：90名 （3）第2部 尋ねよう！体験しよう！ 開催時間：10時～11時 内容：認定補聴器専門店の出展ならびに耳鼻咽喉科専門医への相談 補聴器を見て触ってみよう！ 福島市の認定補聴器専門店2社が出展し、参加者が補聴器を実際に手に取り、相談する機会を設けた。標準純音聴力検査の結果を持参した参加者に対しては、簡易ながら調整し試聴の機会も得ることができた。 Q&A 本欄上部の無料相談が該当する。 ・福島県立医科大学附属病院の院内デジタルサイネージにおいて2025年8月から2026年3月まで「耳鼻咽喉科月間」を放映した。	・ポスターの配布を行った。 ・室野地方部長が耳鼻咽喉科月間のポスターを携え、耳鼻咽喉科月間と市民公開講座の啓発のため福島民報社を訪問し、新聞（福島民報）記事として紹介された（2月17日）。 ・耳鼻咽喉科月間の特集記事が2026年2月26日の新聞（福島民友）ならびに2026年3月1日の新聞（福島民報）に掲載された。
茨城県	実施していない。	難聴に関する講演会 日時：令和8年3月7日（土） 会場：クラフトシビックホール土浦 講演内容： 「音、薬剤、ウイルスの耳への影響と難聴」 田淵経司（筑波大学） 参加者：50名	・ポスターの配布を行った。
栃木県	無料相談会開催 2026年3月1日（日）12:00～14:00 会場：真岡市公民館二宮分館研修室 参加者：20名	市民公開講座開催 2026年3月1日（日）14:00～15:30 会場：真岡市公民館二宮分館研修室 題名：”きこえ”のトラブルと解決方法～正しい知識を得て正しい治療を受ける～ 講師：自治医科大学耳鼻咽喉科 講師 橋本研 参加者：80名	・県内診療所・病院・大学病院各所へポスターの掲示を行った。 ・下野新聞紙にて告知を行った。

群馬県	実施していない。	3月1日(日) 群馬大学医学部附属病院内 刀城会館にて開催。 講演会 『めまいはカラダとココロの疲れから～過労・ストレス・肩こりに注意』 医療法人 竹越耳鼻咽喉科医院 院長 竹越哲男 先生 参加者 29名	・ポスターの配布・掲示 ・上毛新聞に講演会の告知掲載
埼玉県	講演後、「きこえの無料相談会」として補聴器等に関することや日ごろの不安などを補聴器相談医に個別に相談可能なブースを設置し、先着60名まで受け付けた。当日9名の地方部会補聴器相談医に協力いただき、計37名の方を対応した。	・第55回「耳の日」記念のつどい講演会（兼・日耳鼻埼玉県地方部会耳鼻咽喉科月間市民公開講座）」 日時:令和8年3月1日（日）13:00～ 場所:埼玉県県民健康センター2階大ホール ①「こどもの『きこえ』～聴力検査から子育てQ&Aまで～」 安達のどか(埼玉県立小児医療センター) ②「ここまでわかった聴こえの仕組み～より快適な生活で認知症予防を～」 吉田尚弘(自治医科大学附属さいたま医療センター) ③補聴器装用者、人工内耳装用者による体験談 補聴器装用者（一般の方）、人工内耳装用者（一般の方） ⑤「難聴対策に関する国の取組状況」 大山雄太郎(厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 企画課 主査) 現地参加者数:約180名 ノートテイク、手話通訳にも対応した。 ・同日、同会場1階大会議室ABにおいて、（一社）日本補聴器販売店協会ほかの協力により機器展示ブースを設置し、講演の前後や相談会の待ち時間等で機器紹介や相談対応を行った。 ・当日の講演動画をYouTubeで公開準備中 (https://www.youtube.com/@saitama_jibika)。ポスターに地方部会HPのQRコードを記載し周知した。	・周知用のチラシ、ポスターを作成し、県福祉部に協力してもらい県庁舎内、各市町村役場、社会福祉協議会、障害者施設、県内医療機関に掲示した。 ・県及びさいたま市の協力のもと、県及び市の広報紙などへ情報掲載を依頼した。 ・JR浦和駅、大宮駅構内にもポスターを掲示し、近隣住民へアピールを行った。 ・当日は埼玉新聞による取材が入り、翌日朝刊にその様子が掲載された。
千葉県	●「きこえの個別無料相談会」 (令和8年2月27日) 15:30～16:40 茂原市保健センター 専門医・言語聴覚士による個別相談, 補聴器の実物展示 参加者: 65名 ●東金市民対象「難聴無料個別相談会」 (令和8年3月1日) 2部制: 12:00～13:00、14:00～16:00 東金市保健福祉センター（ふれあいセンター） 言語聴覚士（4名）簡易聴力測定 専門医（9名）鼓膜チェック・聞こえの個別相談 事前申込制: 60名（満席）	●「難聴講演会」 「きこえと脳の関係」～補聴器はどのように役立つの？～（令和8年2月27日）14:00～15:15 茂原市保健センター 講演1: 関田恭子（千葉大学附属病院・君津中央病院） 講演2: 石渡智一（君津中央病院 リハビリテーション科ST） 聴講者: 65名 ●東金市・市民公開講座 「現代社会と難聴～今からできる難聴対策～」（令和8年3月1日）13:30～14:30 東金市保健福祉センター 司会: 関田恭子（日耳鼻千葉県補聴器キーパーソン） 講演1: 野口佳裕（国際医療福祉大学成田病院教授） 講演2: 石渡智一（君津中央病院 リハビリテーション科ST） 聴講者: 79名 ●千葉県花粉症重症化ゼロ作戦 YouTube動画配信 (令和8年1月末～4月末) 花粉症ゼロ作戦の一環として、千葉県内の一般の方に向けて、県内の花粉飛散状況、花粉症の対策、治療などのテーマ別に、詳しく解説したYouTube動画を配信。岡野光博、米倉修二ら千葉県のゼロ作戦担当アレルギー専門医チームが解説。	・難聴啓発のポスターを、相談会や講演会開催地周辺の公共施設、医療機関への配布を行った。（左記以外に木更津市でR7年9月に難聴講演会と10月に個別無料相談会を開催） ・千葉県内NPO法人「小象の会」（生活習慣病防止に取り組む市民と医療者の会）発行2026年10月改訂版「特集：聴こえと認知症」執筆：NPO法人代表 篠宮正樹先生 監修：千葉県地方部会成人福祉医療委員会誌内で日耳鼻8030運動や補聴器相談医、県内の補聴器購入費助成制度の情報などの紹介。千葉県の地方部会や医会関連の難聴講演会・相談会を通じ、今年度に900部を配布。 ・公益財団法人ちば県民保健予防財団発行「けんこうChiba」 特集：「睡眠時無呼吸について」 執筆：鈴木雅明（帝京大学ちば総合医療センター） 特集：「突発性難聴について」 執筆：根本俊光（成田赤十字病院） 上記の広報誌を、耳鼻科関連疾患啓発活動として、左記の講演会会場を始め、県内の自治体担当課や保健機関窓口、教育機関（学校の保健室など）各所に広く1980部が配布された。

東京都	実施していない。	<耳の日イベント> 日時：2026年3月8日（日） 会場：東京医科大学 参加者数：一般参加者61名（うち小児20名） / スタッフ・ゲストを含めた総参加人数：78名 ■第一部概要 参加型講演「自分のきこえを理解する～小学生対象～」 きこえの仕組み、先天性難聴の原因、難聴の種類、オーディオグラムの読み方などについて、クイズや動画を交えながらわかりやすく解説しました。 講演の最後には、医師や言語聴覚士が個別に支援しながら、参加した子どもたちがそれぞれの聴力を整理した「自分のきこえカード」を作成しました。 クイズの景品として、学会ホームページの「ヘッドホン・イヤホン難聴」解説ページへリンクするQRコード付きポスターをシールとして配布し、イベント後も知識を深め、周囲にも啓発していくことを目的とした工夫を行いました。 参加者の多くがご家族で来場されており、難聴児本人のみならず、兄弟姉妹や普段診察に同席できない保護者の方々にとっても「きこえ」について理解を深める機会となりました。 ■第二部概要 パネルディスカッション「障害認定を受けない難聴者の合理的配慮の実態と課題」 軽度・中等度難聴者が日常生活や教育現場、就労の場面で直面する課題について、当事者、言語聴覚士、医療の立場から多角的な議論を行いました。 特に、具体的な経験や事例をもとに以下の議論が行われました。 ・難聴であることを職場や学校で「開示するかどうか」の葛藤 ・実際に役立った合理的配慮（字幕、音声文字変換、環境調整など） ・聴力検査の数値だけでは捉えきれない聞き取り困難 ・医療・教育・就労支援の連携の必要性 軽度・中等度難聴は外見から理解されにくく、必要な配慮が十分に行き届かないことも多い現状が共有され、医療・教育・社会が連携して理解を広げていく重要性が改めて確認されました。 <耳鼻咽喉科月間Youtube動画> 一般の方向けのYoutube動画を作成し、啓発活動につとめました。 https://gakujyutsusha.jp/jibika/jibiinkouka.html 耳科動画「耳の検査ってどんなことするの？」 鼻科動画「嗅覚障害について」 喉頭科動画「その声枯れ、放置していませんか？～知っておくべき「喉の危険信号」～」	・ポスターの配布を行った。
神奈川県	一般県民を対象に補聴器メーカー協力のもと「難聴と補聴器の無料相談会」を実施した。 日時：令和8年3月1日（日）10:00～ 会場：神奈川県総合医療会館1階会議室 参加者：46名	実施していない。	ポスターの配布を行った。

山梨県	実施していない。	補聴器講演会 日時：令和8年3月1日（日）14:00～15:15 会場：山梨県立図書館多目的ホール 「医師と専門家が語る補聴器のはなし」 ①「補聴器で認知症は防げるか」 水越昭仁（補聴器キーパーソン） ②「補聴器選びで後悔しないために知っておきたいこと」 鈴木雄一（認定補聴器技能者） それぞれの立場から講演を行った。 講演後、「質問コーナー」の時間を設け、講演内容に対しての質疑応答を行った。 講演会は116名の来場者があり大変わかりやすい内容で勉強になったとの感想があった。	・ポスターの配布を行った。 ・地方新聞（山梨日々新聞）に講演会の広告を掲載した。
新潟県 （新潟市）	無料相談会 日時：令和8年3月8日（日）15:00～16:00 会場：新潟ユニゾンプラザ 耳鼻咽喉科医師5名による無料相談 参加者：17名	耳鼻咽喉科月間 市民公開講座 日時：令和8年3月8日（日）14:00～15:00 会場：新潟ユニゾンプラザ 「難聴は認知症のリスク？聞こえのケアで脳を守ろう」八木千裕（新潟大学） 「そのいびき、大丈夫？30分でわかる睡眠時無呼吸症」篠田秀夫（篠田耳鼻咽喉科医院） 参加者：50名	・新潟日報（朝刊、下越くらしの情報 weekly）に、添付の通り開催案内の広告を掲載した。 ・ポスターの配布を行った。
新潟県 （三条市）	「耳の日」無料相談会 日時：令和8年3月7日（土） 会場：三条市総合福祉センター 耳鼻咽喉科医師5名による無料相談 参加者：35名	実施していない。	・三条新聞に掲載された。
富山県	2026無料相談会 日時：令和8年3月8日（日）11:00～12:00 場所：富山県民会館 無料相談会を開催した。 相談者：23人	2026市民公開講座 日時：令和8年3月8日（日）10:00～11:00 場所：富山県民会館 《市民公開講座》 司会：伊東宗治（伊東耳鼻咽喉科クリニック） 講演1「加齢性難聴について」 藤坂 実千郎（富山大学附属病院診療教授） 講演2「富山県難聴児支援センター「みみえーる」の活動について」 麻生 伸（あそうクリニック院長、富山県難聴児支援センターみみえーる センター長） 参加者：約40人 第105回射水市医師会学術講演会 日時：令和8年3月26日（木）19時20分～20時40分 場所：救急薬品市民交流プラザ 3階 会議室 《講演会》 「難聴・めまいと認知機能の関連について」 森田由香（富山大学教授）	・「耳の日」ポスターの県内各病院・診療所への配布を行った。 ・報道機関名：北日本放送（テレビ） 番組名：「いっちゃんKNB」 番組内のコーナー 「いっちゃん☆メディコ」出演 放送日：令和8年3月9日（月）、 3月16日（月） 《インタビューテーマ》 「突発性難聴」について 森田由香（富山大学教授）
石川県	右記の講演後、個別相談会を行った。	「耳の日イベント」～きこえの市民公開講座～ 日時：3月7日（土） 14:30～16:00 場所：金沢勤労者プラザ3階 304&305研修室 協賛：株式会社日本コクレア ・講演1「耳の病気あれこれ」 稲場真生（金沢大学医学部付属病院） ・講演2「補聴器で聞き取りが難しい方へー人工内耳という新しい選択」 杉本寿史（金沢大学医学部付属病院） ・質疑応答 参加者：60名	・ポスターの配布を行った。 ・中日新聞 3月3日掲載

福井県	講演後、個別相談を行った。	講演会 日時：令和8年3月14日（土）14：00～16：00 フェニックスプラザ地下大会議室A 医療公開講座（主催：福井大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科 協賛：㈱コクレア） 講演内容： 1.『きこえと健康寿命』 岡本昌之(福井大学) 2.『最新の難聴対策』 木村幸弘(福井大学) 参加者：45名	ポスターの配布を行った。
長野県	医療健康フォーラム「難聴と認知症」の開催と同時に、補聴器に関する展示・無料相談および試聴会を開催した。 補聴器メーカー7社および人工内耳メーカー2社が展示を行い、多くの難聴者が補聴器の相談に訪れ、各社ともパンフレットが品切れになるほどの盛況ぶりであった。また県内の認定補聴器専門店および認定補聴器技能者の協力を得て約20名が実際に試聴を行い、一部は実際の購入へと進んでいる。	医療健康フォーラム「難聴と認知症」を以下の講演内容で開催し、事前申し込み数約850名、当日参加者数約600名であった。多数の事前質問の中から抜粋してパネルディスカッション内で回答した。 ①「難聴と認知症の関係に関する導入」 飯島裕一（元信濃毎日新聞社解説員） ②「難聴が起こるメカニズム」工 穰（信州大学） ③「難聴と認知症に関する最新のエビデンス」 内田育恵（愛知医科大学） ④「認知症予防になる補聴器装用」鈴木伸嘉（なのはな みみ・はな・のどクリニック） ⑤パネルディスカッション（飯島裕一氏 司会） 参加者の理解を深めてもらうために当日の講演内容から特に重要な部分を抜粋した資料を配付した。 また講演前にはACジャパンの「耳漫才」動画や、JibiU掲載の「難聴と認知症について（内田先生）「補聴器使用者の体験談」などを流し、参加者により興味を持ってもらうよう企画した。	・地方部会会員、松本市医師会、長野市医師会、信州大学附属病院内各部署へポスター・チラシの配布を行った。 ・信濃毎日新聞社と共催し、添付の様な事前告知記事を8回新聞に掲載した。 ・当日の開催記事を翌日の信濃毎日新聞に掲載していただいた。 ・県内関連病院や会員のクリニックの協力を得て、フォーラムの様子をまとめた添付の「採録」を3月22日(日)の信濃毎日新聞に2面を使って掲載した。
岐阜県	○第28回耳の日のつどい 無料相談会 日時：令和8年3月1日(日)14:30～15:00 場所：じゅうろくプラザ ・2部：無料相談会 耳疾患・難聴について、その他の耳鼻咽喉科疾患についての相談は地方部会所属の耳鼻咽喉科医師6名にて相談対応を行った。補聴器販売店協力のもと、補聴器相談も行った。 難聴者協会協力のもと、相談対応の際に、希望者にはノートテイクを行った。 相談参加者：10名	○第28回耳の日のつどい 市民講座 日時：令和8年3月1日(日)13:00～14:30 場所：じゅうろくプラザ ・1部：講演会 「耳ってすごい！聞こえのひみつと耳の病気」 村井道典(むらいクリニック院長) 「難聴に関するみみよりな話」 池田怜吉(岐阜大学) 「補聴器のはなし」 佐藤幸恵(認定補聴器技能者) 岐阜県耳鼻咽喉科医会との共催、補聴器販売店協賛のもと、上記3名による市民公開講座を行った。 岐阜県難聴者協会後援のもと、ヒアリングループを設置。補聴器の無料貸し出しも行った。パソコン文字通訳サークル「おもちゃ箱」による要約筆記対応も行った。 一般参加者：36名 医会・地方部会参加者：13名 補聴器販売店参加者：10名程度 ○補聴器フォーラム 日時：令和8年3月15日(日) 13:30～14:30 場所：ウインクあいち 岐阜県から医師4名、言語聴覚士2名が参画。専門職を対象とした「補聴器講習会・適合研修会」にて、岐阜大学での両側人工内耳埋め込み術後の患者に登壇頂き、経験談やリハビリの苦勞などを参加者に届けた。 「市民公開講座」では累計490名の参加があり、「難聴」と認知症の関係や健康寿命に及ぼす影響について講演を行った。	・補聴器フォーラムのちらし、ポスターの配布を行った。 ・耳の日のつどいのポスター配付を行った。 ・令和8年3月3日、岐阜新聞にて「3月3日は耳の日 難聴について正しく知ろう」として、岐阜大学小川武則教授（岐阜県難聴児支援センターセンター長）、池田怜吉准教授へのインタビュー記事が掲載された。加齢性難聴、小児難聴、補聴器使用に關しての啓発を含めた内容となっている。

静岡県	実施していない。	『高齢者と嚥下障害』共立蒲原総合病院 院長 宮本康裕先生による動画を静岡県地方部会のホームページに公開した。	ポスターの配布を行った。
愛知県	「第5回補聴器フォーラム東海2026」 補聴器・人工内耳医療相談会 日時：令和8年3月15日（日）14:45～ 会場：ウインクあいち きこえ・補聴に関する市民の相談をお受けした。	「第5回補聴器フォーラム東海2026」 日時：令和8年3月15日（日）11:50～ 会場：ウインクあいち 医会、補聴器販売店協会・同工業会、言語聴覚士協会と合同開催 講演：中日新聞社、東海3県および名古屋市 ・きこえ関連企業ブース展示 ・市民講座 13:30～14:30 「難聴者が補聴器を満足して使用するには」 臼井智子(三重病院) 奥田 弘(岐阜大学) 柘植勇人（日本赤十字社愛知医療センター、名古屋第一病院） 参加者：午前の部273名、午後の部490名	・中日新聞社後援。同新聞への掲載。 ・耳鼻咽喉科領域の健康リーフレット配布： 「アレルギー性鼻炎の舌下免疫療法」を県下の耳鼻咽喉科診療を行う全ての医療機関に配置。 ・ポスターの配布を行った。
三重県	講演後、相談会を行った。 21名がご希望され、6名の耳鼻科医専門医にて対応した。	講演会 日時：2026年3月1日（日） 会場：じばさん三重 内容： 「知ってほしい難聴のこと」 坂井田 寛（三重大学） 参加者：59名	・四日市市の広報誌に掲載してもらった。 ・耳鼻咽喉科月間ポスターの配布を行った。
滋賀県	実施していない。	「聴こえの講演会」（参加者：45名） 日時：令和8年2月8日（日）14:00～15:50 会場：滋賀医科大学リップルテラス2階 「難聴とその対策 ～補聴器・人工内耳～」 久保良仁（滋賀医科大学） 「難聴と認知症 ～難聴による影響をやさしく学ぶ～」 田中早貴（滋賀医科大学医学部看護学科実践看護学講座老年保健看護学） 「聴こえにくい人とのコミュニケーション～今からできる日常での工夫～」 西口達治（滋賀医科大学） 「補聴器の上手な選び方と使い方」 安本景太（滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション部）	・ポスターの配布を行った。 ・朝日・京都・読売・毎日・中日・報知新聞に掲載
京都府	耳と補聴器の相談会 日時：令和8年3月1日（日）13：30～16：00 会場：京都府医師会館 〒604-8585 京都市中京区西ノ京東梅尾町6 TEL：075-354-6101 事前予約制 公募した市民27名の医療相談と補聴器に関する相談を実施	耳の日記念講演会（web配信・（オンデマンド配信）） 日時：令和8年3月1日（日）13：30～3月15日（日）24:00 参加費無料、事前登録不要 主題 「聞こえを大切に」 講演1「耳を大切に」 大森 孝一（京都大学） 講演2「補聴器を使った脳のリハビリテーションと認知症予防」 中村 高志（京都府立医科大学） 講演3「加齢性難聴に関する京都市の取組」 橋野 恵衣（京都市） 詳細案内： https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000347958.html	・ポスターの配布を行った。

大阪府	実施していない。	第30回耳の日セミナー「耳の健康を考える」 日時：令和8年3月1日（日）13時30分～15時 会場：朝日生命ホール（大阪朝日生命館8階） 主催：日耳鼻大阪府地方部会 大阪府耳鼻咽喉科医会 毎日新聞社 後援：大阪府、大阪市、大阪府医師会 講演 1. 「耳の仕組みと難聴について」 □ 長谷川太郎（大阪府耳鼻咽喉科医会理事） 2. 「気づかないうちに困る耳の症状」 綾仁悠介（大阪医科薬科大学耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科学講師） 3. 「聞こえのお話」 角南貴司子（大阪公 立大学大学院医学研究科耳鼻咽喉病態学・頭頸部外 科学教授） 参加者：323名（参加無料・要事前申込）	・ポスターの配布を行った。 ・毎日新聞掲載 「第30回耳の日セミナー」 令和8年3月28日 ・『耳の日』番組出演 NHKラジオ「関西ラジオワイド季節の健康」 午後5時40分から7分間 峰晴昭仁（大阪府耳鼻咽喉科医会理事、 みねはる耳鼻咽喉科院長） 放送日： 令和8年2月2日（月） 「花粉症の病態と診断」 令和8年2月25日（水） 「花粉症の診断と治療（手術療法も含めて）」
兵庫県	・神戸地区 日時：令和8年3月1日（日）13：45～16：30 会場：中央区文化センター10階 ②相談会 15：45～16：30 参加：12組	・神戸地区 69名参加 日時：令和8年3月1日（日）13：45～16：30 会場：中央区文化センター10階 ①講演会 13：45～15：45 1. 「やさしい難聴と遺伝子のはなし」 上原奈津美（神戸大学） 2. 「あなたのイビキは大丈夫？睡眠時無呼 吸症候群について」 森田武志（神戸市） ・阪神地区 35名参加 日時：令和8年3月14日（土）16：00～17：30 会場：兵庫医科大学 202講義室 講演 1 「耳疾患と難聴の診かた・治し方 ～ 手術でできること～」 河野修二（兵庫医大） 講演 2 「健康を守る耳鼻咽喉科診療 ～鼻づ まり・のどの痛み・いびきの最新治療～」 廣瀬智紀（兵庫医大） ・播州地区 7 3 名参加 令和8年3月19日（木）13：00～14：00 会場：ウェルネージ加古川 「高齢者の耳のお話」 黒田一彬（加古川市）	・ポスターの配布を行った。 ・神戸新聞紙上座談会 小児難聴を特集した啓発記事を掲載した。 令和8年2月22日（日）朝刊掲載 上原奈津美（神戸大学） 任 智美（兵庫医大） 勝沼紗矢香（県立こども病院）
奈良県	無料医療相談 日時：令和8年3月5日（木）15：00～ 場所：奈良商工会議所 主催：日耳鼻奈良県地方部会、奈良県耳鼻咽 喉科医会、奈良県医師会耳鼻咽喉科部会三部 会 協力者：日耳鼻奈良県地方部会会員3名、全国 補聴器販売店協会奈良県支部の補聴器説明員 6名、奈良県医師会職員 状況：参加者から、めまい・難聴等の相談を 受けた。また、補聴器装用に関する指導を 行った。 相談者：3名	市民公開講座 日時：令和8年3月5日（木）14：00～ 場所：奈良商工会議所 主催：日耳鼻奈良県地方部会、奈良県耳鼻咽 喉科医会、奈良県医師会耳鼻咽喉科部会三部 会 講演：「難聴・ふらつき対策で認知症を 予防しよう2026」 演者：北原 紘（奈良県立医科大学） 参加者：12名	・ポスターの配布を行った。 ・2/28付け奈良新聞及び市町村広報誌に 講演会・無料相談を掲載し県民へ周知した。 ・補聴器販売店から、顧客へ案内状を送り周 知した。
和歌山県	実施していない。	耳の日 公開講座 日時：令和8年3月8日（日）13:00～16:00 場所：上富田文化会館2階 講演内容： 「乳幼児のきこえについて」 保富宗城（和歌山県立医科大学） 酒井章博（さかい耳鼻咽喉科クリニック） 河野正充（和歌山県立医科大学） 三反田多香子（乳幼児きこえとことば相談 相談員） 参加者：40名	・「耳の日 公開講座」ポスターの配布を 行った。 ・耳鼻咽喉科月間ポスターの配布を行った。 ・和歌山テレビ「マンスリー県政」で実施状 況の放映を行った。

鳥取県	「2026年耳鼻咽喉科月間関連行事 人工聴覚器展示・きこえの相談会」 日時：2026年3月4日（水）13：30～ 2026年3月25日（水）14：30～ 会場：鳥取大学医学部附属病院外来「ココラウンジ」 聞こえの簡易検査と質疑応答の形で耳鼻咽喉科医師が聞こえに関する相談を受けた。 延べ30名程度の相談者あり。	講演会 日時：2026年2月19日14：00～15：00 会場：鳥取大学医学部附属病院ゲストハウス棟2階 「鳥大病院ミニ講座・耳鼻咽喉科のアレルギー疾患」中森基貴（鳥取大学） 30名程度の参加者あり。	・ポスターの配布を行った。 ・令和8年3月1日朝日新聞地方欄コラム掲載「耳の日」
島根県	聴力検査（ご希望の方） 市民公開講座にて実施	市民公開講座-きこえを取りもどそう- 日時：令和8年3月1日（日）13:00-15:15 会場：大社文化プレイスうらら館ごえんホール 講演内容： 「聞こえは大切です-治せる難聴、予防できる難聴」坂本達則（島根大学） 「加齢性難聴と補聴器について」小川真滋（おがわ耳鼻咽喉科） 「人工内耳」坂本達則（島根大学） 質疑応答 参加者：90名	ポスターの配布を行った。
岡山県	「耳の日の集いOKAYAMA」相談会 日時：令和8年3月8日（日）11:00～11:45 会場：きらめきプラザ（岡山市） ・認定補聴器技能士による補聴器や福祉機器の展示および相談 ・耳鼻咽喉科専門医による耳の病気相談、人工内耳相談、補聴器相談 ・言語聴覚士による聴力検査	「耳の日の集いOKAYAMA」 聴覚障害者について理解を深めるための講演、映画上映を行い、約173名の参加者があった。 日時：令和8年3月8日（日） 会場：きらめきプラザ（岡山市） ・講演会 12:15～13:30 「難聴と補聴器・人工内耳のお話ー医師として・当事者としてー」 安岡公美子（日野記念病院） ・映画上映 13:45～15:35 「ぼくが生きてる、ふたつの世界」	・ポスターの配布 ・福祉機器、聴覚障害の啓発情報の提供 ・聴能機器の展示
広島県	『第30回難聴・補聴器よろず相談会』 日時：令和8年3月1日（日）10:00～正午まで受付 場所：大柿市民センター（江田島市） 相談者：34名	実施していない。	ポスターの配布を行った。
山口県	実施していない。	市民健康公開講座「耳の日」 共催 社会医療法人同仁会 周南記念病院 日時：2026年3月7日（土）14:00～16：00 会場：スターピアくだまつ 下松市中央町21-1 内容： 講演①「鼻閉の話」 演者：田村光司（たむら耳鼻咽喉科） 講演②「ご自身・ご家族の健康のためにー良い眠りと睡眠時無呼吸症候群ー」 演者：西村省吾（山口大学） 講演③「耳鼻科医が教える花粉症の正しい治し方・防ぎ方」 演者：沖中洋介（山口大学） 参加者：119名	・ポスターの配布を行った。 ・市民公開講座の後援をいただいた（下松市、下松医師会、徳山医師会、光市医師会） ・「耳の日」の広報が地方紙（宇部日報）に掲載された。
徳島県	難聴、補聴器、人工内耳の講演会のあとに無料相談を実施した。補聴器や人工内耳に関することや、無料の聴力検査体験後に耳鼻咽喉科医に相談できる機会を設けた。	講演会 日時：令和8年3月29日（日）13:00～16:00 会場：アミコビル東館9F 大会議室 講演1「補聴器のいろは、基礎知識のお話し」 竹田利一（日本補聴器販売店協会育成委員長） 講演2「老人性難聴、補聴器とその助成制度について」 大櫛哲史（大楠耳鼻咽喉科はな・みみサージクリニック） 講演3「高度難聴と人工内耳」 東 貴弘（徳島大学病院） 講演4「人工内耳とリハビリテーション」 中村和己（徳島大学病院 言語聴覚士） 講演5「人工内耳装用者の体験発表」	・ポスターの配布を行った。 ・徳島新聞に折り込みチラシ、イベントコーナーへの投稿 ・ケーブルテレビ徳島のイベント紹介コーナーの利用

香川県	耳の日記念講演会 日時：令和8年3月1日（日） 会場：香川総合リハビリテーション福祉センター 補聴器個別相談 15：00～16：00	耳の日記念講演会 日時：令和8年3月1日（日）13:00～16:00 会場：香川総合リハビリテーション福祉センター 講演会 13：00～15：00 「耳はもちろん、匂いも味も。感覚器で楽しい人生を！」 星川広史（香川大学） 「健康寿命は耳から作れる!? 知って得するミミヨリ情報」 高橋幸稔（香川大学） 参加者：93名	香川県を通じ、ちらしとポスターの配布を行った。
愛媛県	・医師、言語聴覚士による無料相談会 日時：2026年3月8日（日） 場所：松山三越6階 E3ホール	【えひめ難聴フォーラム2026】 ～医療・教育・福祉の連携で、聴こえのバリアフリーを実現する～ 日時：2026年3月8日（日）10:30～16:00 場所：松山三越6階 E3ホール 午前：補聴器講習会 10:30～12:00 （医療・福祉・教育関係者向け） 「愛媛県における高齢者補聴器購入費助成について」 高木大樹（愛媛県立中央病院） 「伝音・混合性難聴に対する補聴～軟骨導補聴器の適応とフィッティング」 西原江里子（愛媛大学） 「小児難聴に対する補聴器適応～愛媛県身体障がい者福祉センターでの診療状況」 寺岡正人（愛媛大学） 午後：市民公開講座「聴こえをとりのどそう」 13:30～16:00 講演①：「よく食べ、よく喋り、よく眠り、認知症を予防しよう」 村上信五（名古屋市立大学名誉教授） 講演②：「聴こえ8030運動—日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会の取り組み」 羽藤直人（愛媛大学） 講演③：「“聞こえにくい”をあきらめない—人工内耳のはなし」 寺岡正人（愛媛大学）	・新聞広告で案内（人工内耳メーカー協賛） ・補聴器販売店協会協賛 ・ポスター配布
高知県	高知県地方部会のホームページ上で、耳鼻咽喉科疾患に関するインターネット無料相談を実施した。	実施していない。	・ポスターの配布を行った。 ・高知新聞へ「耳鼻咽喉科月間に寄せて」を寄稿し、県民に広く広報した。

福岡県	「補聴器フォーラム福岡2026」 日時：2026年3月1日（日） 場所：アクロス福岡 7F 主催：日耳鼻福岡県地方部会 福岡県耳鼻咽喉科専門医会（福耳会） 福岡県言語聴覚士会 日本補聴器販売店協会 第3部：補聴器・人工内耳相談会 （14：40～16：10） 相談者数：16名	「補聴器フォーラム福岡2026」 日時：2026年3月1日（日） 場所：アクロス福岡 7F 主催：日耳鼻福岡県地方部会 福岡県耳鼻咽喉科専門医会（福耳会） ◇市民公開講座（13：30～14：30） 1.「聴こえに困った時 耳鼻咽喉科受診のススメ」 石川浩太郎（日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 福祉医療・成人老年委員会委員長） 2.「今日からできるきこえのケアー聴覚リハビリ、デビューしませんか？」 東野好恵（九州大学病院医療技術部 リハビリ部門 耳鼻咽喉科・頭頸部外科） 参加者数：139名	・ポスターの配布を行った。 ・読売新聞に市民公開講座と補聴器人工内耳無料相談会について広告掲載を行った。 ・リビング福岡へ市民公開講座の広告掲載を行った。
佐賀県	耳の日無料相談会を以下の内容で行った 日時：令和8年3月8日（日）午前10時～正午 場所：佐賀市立図書館2F大集会室（佐賀市） 内容：佐賀大学耳鼻咽喉科の医師による問診・診察・相談、場合によっては協賛社の協力のもと聴力の検査、補聴器相談。 協力医師 9名、協賛社 2名、相談者 19名	実施していない。	・ポスターの配布を行った。 ・令和8年3月1日付け《佐賀新聞》に「耳鼻咽喉科月間」の啓発広告を掲載した。
長崎県	実施していない。	実施していない。	ポスターの配布を行った。
熊本県	実施していない。	実施していない。	・ポスターの配布を行った。 ・民放によるTV放送（TKU医療大百科） 2/2 「今年（2026年）のスギ花粉症の予想と対策」 2/9 「最新の花粉症の診断と治療」
大分県	右記公開講座の後、参加者に対して質疑応答というかたちで無料相談を行った。 14名の参加があり、6名の質問に回答した。	耳と補聴器についての市民公開講座 日時：令和8年3月1日（日）10：00～11：30 （受付9：30～） 会場：大分市のホルトホール大分201・202会議室 14名の参加があった。 講演内容： 講演1：「耳にまつわる最近の話題」 川野利明（大分大学） 講演2：「補聴器相談医が教える補聴器の選び方と活かし方」 平岡晃太（国東市民病院）	ポスターの配布を行った。
宮崎県	市民講座後、1時間「耳・鼻・のど」に関する相談会を実施した。	日時：2026年2月28日（土）13：30～16：30 場所：JA AZMホール 参加者：140名 講演①「きこえが悪くなったときのお話～耳そうじから人工内耳まで～」 津曲 省吾（鹿児島市立病院） 講演②「きこえとリハビリテーション」 永友 陽菜（宮崎大附属病院 難聴支援センター言語聴覚士） 各30分程、市民講座を実施し、15分質疑応答を行なった。 また、1名の方に25分程装用者体験発表を行っていただいた。	・関連病院や補聴器販売店へポスターの配布を行った。 ・SNSに広告を掲載した。

鹿児島県	市民公開講座の後に、希望者に対して無料相談の時間を設けた。	市民公開講座 日時：2026年3月14日（土）14：00～15：00 会場：カクイックス交流センター 内容： 「睡眠時無呼吸症候群～そのいびき大丈夫！？」宮下圭一（鹿児島大学） 「耳の詰まった感じ、放っておいて大丈夫？～耳垢だけじゃない、耳の奥のトラブル～」松元隼人（鹿児島大学） 参加者：22名	・ポスターの配布を行った。 ・新聞で市民公開講座のお知らせを行った。 ・ラジオにてお知らせした（MBCラジオ）。
沖縄県	講演会に併設する形で以下を実施した。 ・医師による無料相談会「みみ・はな・のど・くちの相談会」 相談を受けた数：16名 ・補聴器販売店による、補聴器等の業者展示および相談会	市民公開講座「耳鼻咽喉科月間」講演会を下記の要領で行った。 日時：令和8年3月22日（日）14：00～15：30 場所：沖縄県立博物館・美術館 講演会テーマ： “耳”の健康づくり講座と相談会 講演内容： 1. 加齢性難聴について 親川仁貴（琉球大学病院） 2. 補聴器の使い方 与座 要（琉球大学病院 言語聴覚士） 3. 手術でよくなる耳の病気 近藤俊輔（琉球大学病院） 4. 人工内耳とは 比嘉輝之（琉球大学病院） 来場者数：80名	・各病院・補聴器業者へポスターの配布・掲示依頼を行った。 ・琉球放送のラジオ番組、RBC iラジオ「美ら耳便り」に比嘉輝之医師（琉球大学病院）がゲスト出演し、講演会開催のPRを行った。 ・講演会開催について新聞（沖縄タイムス、琉球新報）への広告掲載を行った。